

平成26年度 十日町市・中魚沼郡社会科部 活動報告

部長 涌井芳郎

1 研究主題

資料活用力の育成 ～地域素材の教材化を通して～

2 研究の概要

(1) 期日 8月22日(金) 13:30～16:00

(2) 会場 津南町農と縄文の体験館「なじょもん」及び津南町見玉地内 苗場山麓ジオパークの景観(河岸段丘と柱状節理など)

(3) 研修内容

① 越後妻有大地の芸術祭の事業の生まれた経緯やこれまでの成果と課題、次回開催の計画概要などについて説明を聞いた。

講師：大地の芸術祭総合ディレクター 北川フラム 氏

② 苗場山麓ジオパーク構想について、津南町・栄村にまたがる地形や自然などの価値やその保全と活用などジオパークを構想するに至った経緯について説明を受けた。

講師：津南町文化財班長 佐藤雅一 氏

③ 津南町見玉市内に移動し、ジオパークの一部である中津川横の河岸段丘と柱状節理を見学し、説明を受けた。

講師：津南町文化財班長 佐藤雅一 氏

3 成果と課題

(1) 「大地の芸術祭」が生まれた背景やコンセプト、具体的な事業計画などの説明を受け、地域の特長を生かした事業興しの発想や具体的な進め方などについて詳しく知ることができた。それを生かした教材作りへの足がかりとすることができた。

(2) 苗場山麓ジオパーク構想の意図や具体的な内容、及びそれに関わる人々の努力などについて具体的に知ることができた。地元に着した素材であり教材化への大きな材料とすることができた。

(3) 課題としてはジオパークの現地見学で天候悪化や落雷の心配のため十分な時間がとれなかったことである。屋外での活動の場合、計画変更も想定しておくことが必要だと思った。